

中期 DX 戦略の推進状況

2024 年度下期

1. 社会の動向

物価高や人手不足、米国関税措置など日本経済が予断を許さない状況に直面している一方で、日本政府の産業政策の積極化により DX への更なる支援を加えるなど、経済活性化に向けた産業に対するデジタル利活用の期待が継続して高まってきている状況にあります。そうした中、産業においては PDCA サイクルを回すことによる継続的なトライ＆エラーによるイノベーションとその循環への挑戦が求められており、実現に向けた重要なファクターとして、技術シーズの活用、価値創造人材の育成、そして生成 AI の研究開発・利活用による意思決定の迅速化が挙げられます。

これらの社会動向を元に、エスシーシーでは 2024 年度で得た知識と経験を踏まえて、技術シーズ活用・価値創造人材の育成(MOT 実装)をミッションとする組織や、AI の研究開発や導入を担う CoE を設置しました。また、新たな取り組みと従来事業の両輪を回し、かつ、シナジーを発揮するために必要となる人材戦略の強化、および人材の管理・開発スキームの構築、より活発かつ円滑なコミュニケーションを可能とするバーチャルオフィス活用や VDI 導入といった環境の導入を進めております。これらの取り組みにより、DX 戦略をさらに加速させ、イノベーションを生み出すだけでなく、更なるイノベーションに向けた循環の実現を目指します。

エスシーシーは引き続き、IT で高度情報化社会を支えた実績と誇りをもって DX 戦略を確実に推進し、未来に向け、社会にこれまでにない創造価値を提供できるよう努めてまいります。

株式会社エスシーシー

代表取締役社長

春日 邦彦

2. 中期 DX 戦略の推進状況

(ア) 重点施策

① プロジェクトマネジメント支援 AI システムの構築

構築したシステムの機能の AI 精度が、当初目標である 90%に達しました。今後も、AI 機能の拡張に向けて時代に合わせたアップデートを継続的に進めつつ、DAO を活用したプロジェクトマネジメントの自動化を目指します。

② 人財開発支援スキームの構築

人財管理プラットフォームの全社運用・共同利用を開始しました。引き続き、本プラットフォームを活用した、スキル・行動特性をリンクさせたスペシャリスト育成の導入、及び、会社と個人の共通価値化を実現するためのキャリアサポートの仕組み構築を進めます。

③ 企業アライアンスによるコラボレーションビジネスの開始

これまで企業アライアンスに関する問い合わせを累計 28 件着信し、その 14 件はビジネスモデルの立案、提案活動に繋がっています。その内、2025 年度中に 2 件のアライアンス事業開始を目指し、活動を進めます。

(イ) 環境整備

① 支援・育成面

技術・開発手法の研究活用、知見の集約を担う組織を新設し、社員の業務やスキル向上に対する横断的なサポート体制を構築しました。今後、スキル向上のみならずキャリアプランのサポートを目的とした組織を新設することで、社員の自律的なキャリア形成、会社・個人の共通価値化を促進します。

② 職場環境面

オフィスの増床・移転・サテライトオフィスの新設において、ABW 型オフィスへのリニューアルを行いました。今後は、スモールオフィス化、および、バーチャルオフィス活用によるリモート勤務の実現に向けた VDI 導入を進めます。

③ 作業・セキュリティ面

円滑なコミュニケーションの実現に向けて、全社員を対象とした一人一台スマホの配布を完了しました。配布に伴い、情報漏洩リスクの削減によるセキュリティ強化を行っています。今後、社員の勤務場所と情報資産にあたるデータセンタや社内サービスの完全分離によるスモールオフィス化の実現に向けて、基幹ネットワークの更改や社用設備のデータセンタ化などを推進します。

④ 組織風土面

インナーブランディングによる継続的な行動指針の浸透・実践の促進によって、新たな技術や働き方を受け入れる組織風土、風通しの良い組織風土の醸成を進めています。今後はトップダウンでの浸透のみならず、社員同士での波及的浸透を目指したブランディングを行います。